



将来はジェット機を運航させ、時間短縮・快適な旅行を楽しみ、島外からの観光客や沖洲会の皆様の来島により観光や経済発展が期待できると思う。



松元道芳議員

小型旅客ジェット機離発着可能な空港に整備が出来ないか。

町長 当空港の位置から後450m延長は困難・ジェット化は厳しい。

町長 沖永良部空港はこれまで昭和44年YS-11型機対応1200m滑走路として開港。平成10年度からはサブ機の旅客制限緩和のための滑走路延長事業及びDHCR8・Q400型機対応として滑走路舗装強度変更を実施17年度に1350m滑走路に延長供用開始、現在に至っている。小型ジェット機には1800m必要で後450m延長は当空港の位置上大変困難であり

ジェット化は厳しいものと思われる。

各字公民館の災害・台風対策は出来ているか、やむなく字公民館に避難した住民の対応は。

町長 今年も5個の台風が接近、7月の台風8号、10月の台風19号の2個の台風で各字で字公民館を使用、台風第8号では7字公民館に24名が1泊、19号では10字公民館に合計51名が2泊となっている。

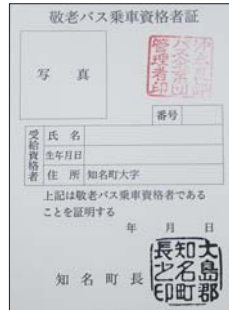
※雨戸の整備は全字公民館で整備がなされていない。

※毛布・食料品の備蓄は全字公民館になく避難者各自で準備している。

※特に不便をきたした問題点として、停電による照明設備や冷蔵庫・テレビ等の電源の確保、暴風雨による飛散物によるサッシの安全確保が課題として挙げられる。

沖永良部バス運行について現在使用している「敬老バス乗車資格者証」は大きすぎるので免許証サイズに変更できないか。

町長 今年度いっぱいはいは、保健福祉課窓口でどのような証を管理しているのか「聞き取り調査」を実施、どのサイズが望ましいかを検討、変更必要な場合は来年度以降交付分について新様式で対応したいと考えております。



バスに乗っても停留所の案内がなく島外のお客が困っている。案内アナウンスは出来ないか。

町長 停留所の案内アナウンスは実施しておりません。理由として多くの客は固定客であり、10年程前一部分の利用者から停留所は分かっているためアナウンスを止めてほしいとの要望があったため、現在は初めてのお客さん等に対しては、運転手が行先を確認し目的地に近い場所で乗降出来るよう案内

内している。今回の要望・指摘を機に案内アナウンスの実施、車内掲示物の充実、インターネットの活用等、利便性を向上させ安全運行により一層努める。

名誉町民に推薦出来ないか。

田畑洋一郎氏については医療分野で社会貢献されており本町故郷に多大な寄付や雇用で貢献されている。東北大学名誉教授の石田秀樹氏は本町の住人となり、多才な経験・人脈でシンポジウムの開催等で町民の意識が向上している。

町長 名誉町民の顕彰はこれまで5名の方が顕彰されている。これまで町制施行などの節目に合わせて行ってきたおり、これまで通り町政の発展等を記念して行う町制施行記念事業に合わせて行うことがふさわしいと考える。推薦の上があった方々については、次の町制施行記念事業の際に考慮したいと考えている。